

グリム童話燕屋風ア・ラ・カルト グイムのかばん

"Grimm's Bags" performed by KUSUNOKI Tsubame



グリム童話は、ずっと気になっていました。
それをどのように舞台にのせるのか、ずっと悩んでいました。
「人形劇って何だろう?」「観客の想像力を刺激する舞台ねえ?」
「モノを遣うからこそ、面白い表現ってあるよなあ?」
自問自答を繰り返しながら、つくってきた作品です。

「グリム童話」より
脚本・演出・出演:くすのき燕 / 美術:益子 淳・くすのき燕

くすのき 燕

ブーク人形劇アカデミー卒。
エッコ・ワールド創設以来、16年にわたり、同社で人形劇の出演・演出などを務める。
2005年春、『人形芝居 燕屋』を旗揚げ。
2006年春、信州に拠点を移し全国を巡演中。
また、他劇団の演出やワークショップなどにも力を注いでいる。
演出作のシアターライヴ「Four Seasons」で、チェコの国際人形劇祭「マテジ
ンガ'09」でグランプリを受賞。
ぱびぷべ劇場、デフ・パベットシアター・ひとみ、人形劇団京芸、人形劇団むすび座、
人形劇団ボボロなどのプロ人形劇団のほか、ましゅ&Kei、表現教育研究所、山の音楽
舎などのプロの芸能・音楽団体や飯田市民による『人魚姫』でも演出を担当している。

かばんから、グリム童話が
次々とびだしてきます。
皆さん、よくご存知のお話が、
どんな人形劇に
なっているのか、いないのか?
それは見てのお楽しみ。

様々なスタイルで、
グリム童話を上演します。
上演予定作品は
『いばら姫』『赤ずきん』
『漁師とその妻』です。

「with タカパーチ バージョン」もあり☑。
20種類の楽器を自在にあやつるタカパーチ氏
との共演です。

つばめや
人形芝居 燕屋

〒390-1243 長野県松本市神林5108-8
TEL&FAX 0263-58-1357
E-mail kusunoki@tsubame.net
URL <http://tsubame.net>

